

(別紙2)

## 医療事故レベルの分類

	レベル	障害の継続性	障害の程度	内 容	報告用紙
インシデント	レベル0	なし	実害なし	エラーや 医薬品・医療用具の不具合が見られたが、患者様には実施されなかった	ヒヤリ・ハット
	レベル1	なし	実害なし	患者様への実害はなかった (何らかの影響を与えた可能性は否定できない)	
	レベル2	一過性	軽度	処置や治療は行わなかった (患者観察の強化、バイタルサインの軽度変化、安全確認のための検査などの必要性を生じた)	インシデント
	レベル3a	一過性	中等度	簡単な処置や治療を要した (消毒、湿布、皮膚の縫合、鎮痛剤の投与など)	
アクシデント	レベル3b	一過性	高度	濃厚な処置や治療を要した (バイタルサインの高度変化、人工呼吸器の装着、手術、入院日数の延長、外来患者さんの入院、骨折など)	アクシデント
	レベル4a	永続的	軽度～中等度	永続的な障害や後遺症が残ったが、有意な機能障害や美容上の問題は伴わない	
	レベル4b	永続的	中等度～高度	永続的な障害や後遺症が残り、有意な機能障害や美容上の問題を伴う	
	レベル5	死亡		事故が原因で死亡した場合 (原疾患の自然経過によるものを除く)	
	その他			医療に関する患者様からの苦情 施設上の問題、医療機器の不具合・破損 麻薬・劇薬・毒薬の紛失	

※ 「国立大学附属病院医療安全協議会」が定めた「影響度分類」に準ずる